

2012年度 日高賞 受賞者

長谷川真理子氏

受賞理由

長谷川真理子氏は、動物行動学を中心として、その周辺領域である進化学、進化心理学（人間社会生物学）、科学論等に関する非常に多くの一般向けの著書を1980年代から長期にわたって数多く執筆してきました。「過去10年程度以内」（選考委員会の細則）に限っても、『動物の生存戦略：行動から探る生き物の不思議』（2009年）、『ヒトはなぜ病気になるのか』（2007年）、『ダーウィンの足跡を訪ねて』（2006年）、『進化生物学への道』（2006年）、『クジャクの雄はなぜ美しい？』（2006年）、『動物の行動と生態』（2004年）と、動物の行動と進化に関わる幅広い分野の著書を発表しています。しかもこれらの本のどれもが、その科学的価値を損なわずに、高校生でも読めるように工夫されており、優れた啓蒙書であるといえます。これらの著作は、動物行動学の魅力を社会に普及させ、科学的な見方を社会に広める上で大きな役割を果たしたと考えられます。